

もくじ

原子力規制委は防災指針・新安全基準の
パブコメを無視するな！……………1
甲状腺ガンの「多発」が確認される中で
健診範囲の拡大など改革が迫られる健康
管理調査……………2
FFTV 紹介……………2
パンフレット紹介……………3
どなたでもご参加できます……………4
福島ほかほかプロジェクト……………4
活動日誌 (2月6日～3月7日)……………4

フクロウの会 (福島老朽原発を考える会)

●フクロウの会は放射能汚染や事故の心配がなく、放射性廃棄物を生み出さない社会、すなわち原発のない社会をめざして首都圏で活動を続けてきた団体です。

●今回残念ながら福島で重大な事故が起きてしまいましたが、事故による人々の被ばくが少しでも少なく抑えられるよう事故直後から情報提供、放射能測定プロジェクト、国や自治体への働きかけなどの活動を行ってきました。

●そんなフクロウの会の様々な活動を支えるための会員・サポーター・資金カンパ募集中です。ご協力いただけますと幸いです。

【カンパ送り先】

- ゆうちょ銀行からの振替
- 口座記号番号
00130-9-655439
- 口座名称(漢字)
福島老朽原発を考える会
- 口座名称(カナ)
フクシマロウキウゲンバツウ
カンガエルカイ
- 他の金融機関からの振込
- 銀行名= ゆうちょ銀行
- 金融機関コード 9900
- 店番 019
- 預金種目 当座
- 店名 〇一九店(ゼロイチキウ
ウ店)
- 口座番号 0655439

フクロウの会(福島老朽原発を考える会)のブログ…<http://fukuro.txt-nifty.com/fukuro/>

原子力規制委は防災指針・新安全基準の パブコメを無視するな！

◆原子力防災指針のパブコメ に3千を超える意見

原子力防災指針の改定案について、3155 通ものパブリック・コメント(募集意見)が寄せられました。そのほとんどが、指針が定めた防災重点地域(UPZ)が30キロでは狭すぎる(福島原発事故に照らすと少なくとも60キロとなる)、線量基準が低すぎる、中央制御室が使えなくなるほどの状況でようやく避難では遅すぎる、被災者からのヒアリングをすべき、といった改定案を批判する内容でした。

◆パブコメを無視する 原子力規制委員会

ところが原子力規制委員会は、こうした意見を全くとっていいほど反映しませんでした。しかも、コメントの検討を検討チームでも行わず、個別の質問にも対応せずという状況です。田中委員長や中村委員は「理解が進んでいない」と、コメントを出した側が悪いかの発言をしています。許しがたいことです。

◆防災計画を巡り各地で取り 組みと連携していこう

いま、関西をはじめ、各地の原発

立地周辺地域では、いまの防災計画では住民を守れないとして、住民や市民による自治体へのはたらきかけが盛んに行われています。こうした動きと連携して、パブコメを無視するな！被災者の声を聞け！防災指針の見直しを！原発を止めることが防災だ！との声をあげていきましょう。

◆再稼働に向け急ピッチで 検討が進む「新安全基準」

原子力規制委員会が急ピッチで進めている「新安全基準」の検討もひどい状況です。「本来なら5年はかかる」(更田委員)という作業をわずか10ヶ月余りで仕上げようというのです。検討チームから、批判的な専門家を排除し、利益相反が明白な専門家が電力側に有利な発言を繰り返しています。

◆根本的な対応は先送り

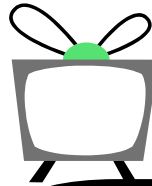
シビアアクシデント対策については、格納容器の構造欠陥には手をつけず、移動式電源車や移動式冷却装置など、外付けの間に合わせでよしとし、恒久施設については計画があればよしとしています。大飯原発再稼働時と同様で、原発の再稼働を容易にするものです。放射能をばらまく「ベント」の活用も問題です。



◆4千通を超えるパブコメを無視するな！

骨子案に対するパブリック・コメントは、地震・津波基準と合わせて4,300通余りになりました。批判的な専門家からも多くの意見が出ています。この種の募集意見としては異例の数です。原子力規制委員会が、パブコメ

をきちんと検討し、それを反映し、再稼働準備に待ったをかけるよう、しっかりと監視していきましょう。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

フクロウ・FoEチャンネル（FFTV）好評放送中！

原発のない社会を目指して、ふくろうの会とFoE Japanが始めた
ユーストリーム放送、FFTV大好評放送中！

(必見の特集も！放送日時はwebでチェックして下さいね。)

過去の放送もアーカイブでお好きな時にご覧いただけます☆ぜひご覧下さい！

今後の特集予定☆check！

3月18日 FFTV 特集[憲法2] 原発と人権 憲法があぶない！

ー近現代史と憲法（戦前）～ゲスト：堀越直樹さん（高校教諭）

3月20日 FFTV 特集27 放射能測定による汚染の監視と市民運動

～「ちくりん舎」創設の現場から中継

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

甲状腺ガンの「多発」が確認される中で
健診範囲の拡大など改革が迫られる健康管理調査

◆3名が甲状腺ガンで確定診断・
7名で甲状腺ガンの強い疑い

福島県の健康管理調査において、2011年度に実施された18歳未満の甲状腺検査において、3名に甲状腺ガンが見つかりました。さらに7名について、細胞検査で陽性と診断されています。この段階でガンである可能性は9割とのこと。7名の9割は6.3名ですから、合わせて9.3名が甲状腺ガンともいえます。

◆有病率と発生率の違いを考慮しても「多発」である

今回は、3万8千人余りの検査結果です。甲状腺ガンの発生率は、小児の場合、100万人に1～2名程度です。症状が出てから診断を受けて見つかる率と検査によって見つかる率は、後者が高くなりますが、疫学の専門家である津田教授（岡山大）は、その影響を考慮しても多発だと述べています。



◆検査の拡大が必要

福島県立医大は、チェルノブイリ事故では甲状腺ガンは4年後から増加した、今回は事故とは関係ないもので、見つかったのは検査があがったせいだと頭ごなしに否定しています。しかし、検査精度があがったから、4年後ではなく今見ついている可能性もあります。

「多発」の事実に向き合い、事故との関係も考慮しながら、検査のあり方や範囲について見直しを行うのが科学的な態度です。宮城や茨城、栃木などへの検査の拡大が必要です。

◆健康状態の把握すらされないおそれ

福島県民健康管理調査には、甲状腺検査の他にも多くの問題があります。健康管理の対象が福島県民に限られていること、一般の健康検診については、対象が避難区域の住民に限られており、その他については、通常の健

康診断を受ければよいとされていることなどです。チェルノブイリでは、低汚染地域においても、被災住民の子どもの世代で、ガン以外の慢性疾患が多発しています。福島原発事故の影響により、甲状腺ガン以外の疾患が生じることが否定できませんが、いまのやり方では、健康状態の把握すらされないおそれがあります。

◆子どもたちの健康を守るために

現状では、子どもたちの健康を守ることはできません。避難区域外、福島県外にも健康検診の範囲を広げ、健康状態の把握と管理を一元的に行うこと、被災者の子どもの世代についても実施すること、健康検診と医療を保証するために健康管理手帳を配布すること、原発事故子ども・被災者支援法にのっとり、国の責任においてこれらを実施することが求められています。

パンフレット紹介

シリーズ - 子どもたちの尿検査から見えてきたもの Vol.3

福島県「健康管理調査」で子どもたちの健康は守れない

継続検査で内部被ばく低減を

発行：2013年1月28日／福島老朽原発を考える会（フクロウの会）

フクロウの会で継続している子どもたちの尿検査結果や、それを通して見えてきた内部被ばくをめぐる問題について、新たなパンフレットを発行しました。前編以降、新たに検査した約90件近くの尿検査データに加え、2011年11月、2012年11月と2回にわたり継続調査したハウスダスト分析の結果も含んでいます。

入手ご希望の方はパンフレット(第3編)希望と書いて、冊数、送付先(郵便番号、住所)、氏名をご連絡ください。代金は振り込み用紙を同封しますので受け取り後振り込んで下さい。

尚、2012年4月発行の続編、2011年11月発行の初編もあります。私たちの尿検査の目的、続けるなかで新たに判明したことなどの全体像を理解するうえでは初編、続編を合わせてお読みいただくことをお勧めします。ご希望の方はそれぞれ「続編」「初編」と書いて同様に申し込んで下さい。

活動日誌

(2月6日～3月7日)

2/6 原発新安全基準&原発事故防災指針パブコメワークショップ共催

2/6 伊達市のお母さん方と内部被ばく・健康管理についての懇談会

2/8 経産省テント前「みんなのパブコメ」かきかきコーナー共催

2/9 原発新安全基準&原発事故防災指針パブコメワークショップ共催

2/10 FFTV「みんなのパブコメかきかき@全国津々浦々」7時間スペシャル共催

2/22 避難基準に福島原発事故の実態を！署名を共同で提出

2/25 パブコメワークショップ第3弾！原発新安全基準共催

3/1 福島県民健康管理調査の問題点および健康管理のあり方について緊急提言を共同で提出

3/7 緊急院内セミナー「どうする？放射線による健康被害への対応ー市民・専門家による提言」共催

その他 福島ほかほかプロジェクト、ちくりん舎、規制庁前行動、FFTVなど他団体と共同で実施中

フクロウの会では、
会員・サポーターを
募集中です。

【会費】

会員 1000円/月

サポーター1000円以上/年

●集会でのスタッフやパンフ作成のご協力など一緒に活動していただける方を募集しています。

●皆さまの貴重なご意見もお待ちしております。

【お問い合わせ・

お申し込み先】

TEL：03-5335-7213

FAX：03-5225-7214

Email：

fukurounokai@gmail.com

(通信郵送のお申し込みもこちらで受け付けています☆ご希望の方はお知らせください。)

♪どなたでもご参加できます。ご参加お待ちしております♪



フクロウカフェ vol.6 3月17日(日)

防災指針、新安全基準…。原子力規制委員会について言いたいこといっぱい抱え込んでいませんか？子どもたちを守りたい！だから今すぐ何とかしたい健康管理問題について。他にも色々疑問や不安、私はこう思う！などなどみんなでお話しませんか？

どうぞお気軽にご参加下さい。

●日時：3月17日(日) 13:30～16:30頃(開場 13:15)

●場所：経堂地区会館 第3会議室

東京都世田谷区経堂 3-37-13 小田急線経堂駅徒歩7分

●参加費：300円(お茶・お菓子付き)手ぶらでもOK!マイカップ持参も歓迎です♥

●テーマ：その1「どうするの?ー再稼働に向けて動く規制委員会」

防災指針、新安全基準をめぐる

その2「子どもたちを守りたい!ー健康管理問題」

●ファシリテーター：阪上 武(福島老朽原発を考える会代表)



ほかほか報告@東京 3月23日(土)

「福島の今：子どもたちの健康を守るために私たちにできること」

3.11と原発災害から2年が経ちますが、多くの課題が未だに積み残されています。特に福島では、新たに子どもたちに甲状腺がんが見つかるなど、健康への懸念が広がっています。

福島における避難や保養をめぐる動き、放射線量測定や尿検査から見えてくるもの、健康管理の問題点と市民・専門家からの提言などをお伝えします。また、支援が行き届いていない自主的避難者や県外へも期待が寄せられている「原発事故子ども・被災者支援法」の現状と課題をお伝えします。さらに、福島市・伊達市・伊達郡の子どもさん・妊婦さんを対象とした保養プログラム、福島ほかほかプロジェクトの活動報告も行います。

●日時：2013年3月23日(土) 13:30～16:00

●場所：人権ライブラリー 東京都港区芝大門 2-10-12 KDX 芝大門ビル4F

●参加費：500円 ●定員：40名 要事前申し込み

●主催：福島ほかほかプロジェクト

問い合わせ：FoE Japan 渡辺

Tel:03-6907-7217 Fax:03-6907-7219 e-mail:finance@foejapan.org

報告会詳細につきましてブログにも掲載しております。

<http://ameblo.jp/pokapro/>

福島ほかほかプロジェクト

～福島の子どものための保養の実現に力を貸してください

◆福島ほかほかプロジェクトについて <http://ameblo.jp/pokapro/>
福島ほかほかプロジェクトはみなさまの寄付で支えられています。

ぜひ、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

◆オンライン寄付はこちらから

https://mp.canpan.info/foejapan/products/detail.php?product_id=3573

◆<お振込み口座> (東邦銀行とゆうちょ銀行に、独立した口座を開設しました)

1) 東邦銀行本店・普通口座 3697748

口座名義：わたり土湯ほかほかプロジェクト 代表 菅野吉広(かんのよしひろ)

2) ゆうちょ銀行・記号 18230・番号 29132261

口座名義：わたり土湯ほかほかプロジェクト

口座にお振込後、下記の申込フォーム又はFAXで、1)お名前(団体名)、2)金額、3)連絡先、4)メッセージ、5)お名前・メッセージのブログ上での公開可否などをご連絡下さい。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/1715ebc124776> FAX：03-6907-7219